平成 23 年度 e－AAC ワークショップ「情報セキュリティ講座」

「事業継続とクラウド時代の情報セキュリティ」セミナーの概要

NPO 法人　電子自治体アドバイザークラブ
（ URL：http://eaac.sakura.ne.jp/）

第 1 回　講演会

■日時：　平成 23 年 9 月 26 日（月）、13：00～16：30　　　会場：奈良商工会議所 4 階中ホール
■基調講演：「クラウドセキュリティ最新情報」（帝塚山大学経営情報学部　教授　高瀬宜士氏）
【概要】
平成23年4月1日経済産業省から「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメント～クラウドサービスの安全・安心な利用に向けて～」というガイドラインが公表されました。
これは、クラウドサービスを安全に安心して利用することを目的に策定されたもので、クラウドサービスの導入検討に非常に参考となる内容が含まれています。
今回は、このガイドラインに基づいて情報セキュリティに関する注意点についてお話させていただきます。

■講演2：「富士通クラウドサービスのセキュリティの取り組み」
（富士通株式会社クラウドビジネスサポート本部　チーフアーキテクト　塩崎哲夫氏）
【概要】
富士通は、FGCP/S5 という IaaS ベースのクラウドサービスとマイクロソフト社と提携した FGCP/A5 というクラウドサービスを展開しております。特に、FGCP/S5 はグローバルに統一したインフラサービスを展開しており、国内外のお客様をグローバルにサポートできることを目指しております。その中で、情報セキュリティに対してどのような体制と施策を進めているかについてご紹介します。また幾つかの先進事例についても合わせてご紹介いたします。

第 2 回　講演会

■日時：　平成23年 10 月　17 日（月）、13：00～16：30　　　会場：奈良商工会議所　地階 AB 会議室
■講演1：「事業継続と事例紹介」　（クオリティソフト株式会社　平居透氏）
【概要】
東日本大震災の余震がまだ続いておりますが、この震災を契機に過去の地震や津波被害に於ける新たな研究が進んでおり、各種の報告を見るとやはり日本に居住する以上はこのような震災から逃げる事は出来ない事が判明してきております。本セミナーでは、今回の東日本震災で起った震災を各種の視点から検証を行い、
「サーバを地震や津波の災害から守るための BCP/BCM 対策は如何にあるべきか」
「紙の重要書類が津波や火災で被災する事を想定した対策はどうあるべきか」
「災害や計画停電で事業所に立ち入る事すらできない場合の対策は？」をなるべくお金をかけないで実施する方法を弊社製品だけでなく、他社製品活用も含めてお話させていただきます。

■講演2：「クラウドコンピューティングのシステム監査」（パナソニック溶接システム株式会社　深瀬仁氏）
【概要】
クラウドコンピューティング（以下、単に「クラウド」と記載する）の活用により、これまでの外部委託形態以上に課題が潜在化し、実態がつかみにくくなっています。本セミナーでは、システム監査学会・システム監査人協会の共同プロジェクトである【クラウド研究会】にて活動している内容をもとに、クラウドが抱えている課題、クラウドサービスの提供会社の取組み事例、クラウド利用に関する法的規制等を通じて、クラウドに対するシステム監査における視点やアプローチについてお話させていただきます。

■講演3:「情報セキュリティ最新情報」(帝塚山大学経営情報学部　教授　高瀬宜士氏)

【概要】

IPA(独立行政法人　情報処理推進機構)から「2011 年版 10 大脅威進化する攻撃. . . その対策で十分ですか?」 が 発表されています。 スマートフォンを始めとして様々なICTツールの普及に伴い、 情報漏えいの危険性が増大してきています。 ウイルス情報など最新の情報セキュリティを取り巻く 環境についてお話させていただきます。

第 3 回　講演会

■日時: 平成 23 年 10 月　31 日(月)、13:00～16:00　　　会場:奈良商工会議所5階大ホール

■講演1:「クラウドコンピューティングと情報セキュリティ」

(日本マイクロソフト株式会社チーフセキュリティアドバイザー高橋正和氏)

【概要】

IT 利用形態の多様化と高度化に伴い、改めて効果的で合理的な情報セキュリティ対策が求められている。大規模な情報漏えい事故が相次ぎ、また、従来は侵入が難しいと考えられていた組織への侵入も報告され、セキュリティの根幹にかかわるような事故も明らかになっている。

また、クラウドの普及により、新たな IT 環境の選択肢が提示されるなかで、クラウド利用におけるセキュリティの考え方が問われている。

当セッションでは、まず、

1)最近の情報セキュリティ事故の分析を通じて、企業や組織が対処すべき課題を明らかにする。

そして、

2)高度化している現在の攻撃手法の分析を通じて、従来の脅威と現在の脅威の違いを解説し、

3)現在の脅威に対して、必要とされる対策の基本的な考え方と手法を紹介する。

最後に、注目をされているクラウドについて、

4)クラウド利用において検討すべきセキュリティ上の課題と、クラウドを利用することで対策が行えるセキュリティの課題を解説する。

■講演2:「サイバーテロの現状等」

(近畿管区警察局奈良県情報通信部　情報技術解析課　課長松下景次氏)

【座長】: 帝塚山大学経営情報学部　高瀬宜士(よしひと)教授

【共催】: 第 1 部(第1回、第2回): ・帝塚山大学　経営情報学部　高瀬研究室

・特定非営利活動法人　電子自治体アドバイザークラブ (e-AAC)

第2部(第3回): ・奈良県電子自治体推進協議会

・特定非営利活動法人　電子自治体アドバイザークラブ (e-AAC)

【後援】:

・近畿経済産業局　・奈良県　・奈良県市長会　・奈良県町村会　・奈良県中小企業支援センター

【協賛団体】:

・西日本電信電話株式会社奈良支店　・富士通株式会社

・シャープ株式会社　・ 近鉄ケーブルネットワーク株式会社(KCN)

・特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES(略称:NPO 法人　CCC-TIES)